

ふむ。よくぞ戻ったのう、勇者よ。

して、感想はどうじゃ？

くふっ、とぼけるでない。

人の子の国を。

人の希望たる、そなた自らがのう。

大敵たる魔王に言われるがまま、己の手で滅ぼした気分はどうかと。

余は聞きたいと、言っておるんじゃがの～？

ほう、ほうほう。最高の気分じゃったとな！

くふふ、誠にういヤツよ。うむ、疑ってなどおらぬ。

何せ頭がとっても低い♡こうやって、のう。

玉座に座っても、なおちんまい余が。

容易く足の裏などで、頭を撫でてやれるほどにのう。

ほれほれ、ぐうり。ぐうり。

こちらの感想はどうかの、勇者よ。

魔王たつての褒美じゃぞお？

ウンとかスンとか言わぬかそなたっ！

くっふっふ～♡身に余る光栄となっ♡

まあそうじゃろう、そうじゃろうとも！

そなたは勇者じゃが、赤子の頃よりのう？

魔王たる余が丁寧に丁寧に、忠誠心を叩き込んでやったからの～？

逆らうなど考えもせず、余に尽くすことしか頭に無い哀れなる生き物。

そう、もはや魔の勇者と言うべき存在なのじゃからっ！

うむ、名残惜しい顔をするでない。

賤けを兼ねたご褒美。

足裏ナデナデの時間は終わりじゃぞ～？

余とて、必要とは言えのう。

素直なそなたを踏んづけるのは、いささか心が痛む。

じゃからな？ねだるがよいぞ、追加のご褒美をのう♡

ほれ。立つがよい。おおいに頭

そして申すがよい。そなたが本当に望む褒美をのう。

こ、これ。何故無言なのじゃっ♡

ちんまい余を見下ろしつつ、でっかい馬鹿乳にい♡

ふっとい腕を伸ばして、一体何をするつもりなのかのっ♡

ンッヒッ♡こ、これ♡いきなり何をつ♡

しょっ♡優しくツンツンするでないっ♡

あゝッあゝッ♡

爪先で輪郭をなぞるのも、らめなのじゃあっ♡

意地悪ダメじゃ♡もっとしっかり触るがよい♡

どこを、じゃとお？

そんなの決まっておろうがっ♡

そなたがちょっとイタズラしただけで、余のうすうす過ぎる乳暖簾をお♡

盛大にビンビンッ！と押し上げてえ♡

存在を主張しちゃってるコレなのじゃ♡

位置を確かめる必要すら有りはせぬ♡

じゃからの、ひんっ♡

顔が怖いのじゃ♡

もはや我慢ならぬと、目つきが言っておるう♡

しょうがないのう♡

ならば余が、自らめくってしんぜよう♡

ほ、ほれ♡ぺろお～んっ♡

これっ♡見とれてないで、何か感想をじゃなっ♡

ンッぴいゝ～ッ♡こ、これっ♡勇者よっ♡

指強いつ♡握力ヤバ過ぎなのじゃあっ♡

のおゝッ♡ヒョオゝ～ッ♡

もっと抓っちゃらめっ♡らっめえゝ～ッ♡

余が逆に♡びゅうびゅう感想搾られとりゅっ♡

嬉しがり過ぎて、いっぱいミルクを嘔きまくっちゃうのじゃあ～っ♡

わ、わかったのじゃっ♡いつも通り呼びつつ。

おねだりするゆえ、許してえ♡

そ、その♡余はのう♡

魔王にして、勇者なそなたの母じゃからあ♡

いつものご褒美を、たあっぷりと与えたいのじゃ♡

指なんかじゃダメじゃぞお♡

お口でグビグビされたくてたまらぬっ♡

そなたを立派に育てた、マ魔王印のおいしいミルクじゃぞお♡

ワガママ放題食るがよい♡強くて逞しい勇者にしてえ♡
余の愛しい愛しい、かわゆい我が子よ♡

ンッモォゝ～♡肺活量もしゅんごく勇者ッ♡
あゝッひいゝ♡噛むでない♡
余、ミルク出すのサボらぬからあ♡
そなた、ご褒美♡ミルクねだるの上手すぎるのじゃあ♡
も、もっとお♡い～っぱい♡
情け容赦なく、余のミルクを堪能するがよいぞ♡
えへ♡

モォゝ～♡ぶうゝッモォゝォゝ～♡

まったく♡自分は玉座にゆったり座り。
魔王たる余は立たせた挙句に♡はひいん♡
す、すまぬ♡ミルクが足りなかったのじゃな♡
大人しく脚も、馬鹿乳もしっかり伸ばしてえ♡
授乳ご褒美与えるゆえ、今度こそ手加減してくりゃれ♡
もう余の乳首、そなたの歯型がたっぷりなのじゃあ♡

モォゝ～♡しゅ、しゅまぬ♡
余としたことが、前言撤回しかけたのじゃ♡
魔王にも母にも二言は存在せぬ♡
余のミルク、そなたはいつでも飲み放題♡
今度からはねだられるより先に、自分で乳暖簾めくるのじゃ♡
ひん♡足りぬとな？
ミルクを飲み過ぎて、ちんぽムカついちゃったから？
母として、違う部分もめくるべきとな♡
さ、さあて。どこのことかの～♡
余、ぜ～んぜんわからぬのじゃ♡

お`ッお`ッ！？お`～ッ♡

これ、そなたっ♡また無言でえっ♡
のっホオ`ッ♡

あ`～ッ♡あ`～ッ♡
余が大人しくめくらなかったからあ♡

ふっとい指がムカついておるっ♡
母のふにあなほぢり過ぎなのじゃあっ♡

らめっ♡らめらめっ♡余は母ッ♡

そなたがちんぽハメるための、オナホではないのじゃっ♡

まあ、もう何回もされちゃっておるしい？

乳暖簾にも、まんこ暖簾にも。
そなたのおねだりに屈してえ♡

我が子専用♡と、しっかり書きちゃっておるけども。

今日こそは母として、しっかり拒んで見せるのじゃ♡

ンッモオ`オ`～ッ！？

はひっ♡はひいっ♡

や、やはりい♡そなたはとっても優しいのう♡

余の懇願を聞き入れ、考え直してくれたのじゃな♡

偉いぞよ♡
乳首を抓って、ミルクを搾るだけで勘弁してくれるなどと♡

ならば余も、我が子の真心に応えねばならぬのう♡

ひんっ♡相変わらず、こちらも立派に育ちおってえ♡

長さは余の小顔など、あっさりと越えてえ♡

太さもほれ♡
両手で握っても、指同士がくっつかぬのじゃ♡

こんな聖剣をも超えるような、雌殺しの魔剣をのう♡
母のふにあなにブチ込もうなどと。

息子の息子がワガママ過ぎるのじゃ♡
じゃがのう、あまり母を舐めるでないぞよっ♡
そなたの大好物で、見事鎮めてしんぜよう♡

ほれ、おっぱいおむつの時間じゃぞお～っ♡

んっふっふ～♪どうじゃ、どうなのじゃ♡

そなたは昔から、コレに弱いからのう♡

まあ、今ではの？
余の自慢の馬鹿乳でも、とても包みきれぬ♡

亀頭どころか、竿の半ばまでハミ出す始末よ♡

じゃが心配はいらぬのじゃ♡ほうれ♡

ずりゅたぶっ♡むにむに～♡

母の抱擁力をナメるでないぞ♡

必死コイて乳で媚び、そなたのちんぽを谷間で磨き尽くしてえ♡

さっき余から搾った以上にい♡
くさくて濃ゆうい、ミルクを搾り倒してやるからのっ♡

ノッてきたのじゃっ♡
おっばいおむつを馬鹿乳ハンマーにっ♡

母の重い愛を食らうのじゃっ♡せ～、のっ♡

ほお`～ッ！？ンッモオ`～ッ♡

ち、乳首いっ♡摘まみ上げて妨害してはならぬっ♡

今のでちょっと伸びちゃったじゃろっ♡
多分っ♡

今は余が、我が子のミルクを搾るターンじゃからっ♡

母からミルク搾るの禁止なのじゃ♡
後生じゃから、離してくりやれ♡

んはっ♡
そうそう、良い子じゃ♡では続きを♡

んっぎゅっ♡あ`ッあ`ッ！？

ブモッ♡ブッモオ`オ`～ッ♡

そ、そなた天才過ぎるじゃろっ♡

約束通り乳首は離し、馬鹿乳丸ごと握ってえ♡

噴かせたミルクを、、ちんぽシゴきローションにするなどとお♡

でも意味ないのじゃっ♡
余の馬鹿乳、ふっとい竿で谷間が削れてしまううっ♡

力もちんぽも強すぎるうっ♡たしゅけてっ♡

降参なのじゃっ♡詫びチンキスせねばならぬっ♡

ちゅっ♡ちゅっ♡
んぎゅお`ッ♡モオ`～ッ♡

全力搾乳でお返事いッ♡

しかもちんぽっ♡びくびくう～っ♡

にゅお` オ` ツ♡あぢゅいつ♡
谷間にミルク染み込むうっ♡

しかもネバっこく、匂いが取れぬほどにくっさい上にい♡

まだまだ出ておるっ♡
余の馬鹿乳から溢れまくっておるのじゃあ♡

余の母ミルクとは次元が違う、何と雄々しき大奔流♡

これでは絶対空っぽにできぬう♡それに比べて余と来たら♡

母としておっぱいおむつできずにい♡
我が子におっぱいオナホとして使っていてえ♡

チンキスで許し乞いした挙句、のけ反り噴乳アクメでお口をあっさり離し♡

そなたのお許しミルクを一滴も飲めず、谷間ばかりに馳走させるなど♡

なんという体たらく♡せ、せめて詫びチンキスの一つもせねば♡

ん～ちゅっ♡はむ♡はむ♡

ぶもっ♡ンツモオ` ～ツ♡

あ` ツ♡あ` ツあ` ツ♡

は、母を膝に座らせてえ♡ンツヒツ♡

ぷにあなぐちゅぐちゅ、自分の指でほぢらせてえっ♡

ちんぽハメられる準備を整えよなどと、なんと酷い我が子なのじゃっ♡

あ` ツあ` ツ♡もうらめっ♡

ほぢるの終わりッ♡これにて終了なのじゃあっ♡

ンツモオ` ～ツ♡
よ、余が手マンを止めるとお♡

我が子が馬鹿乳搾って、急かしてきよるう♡

なんと恐ろしい仕組みなのじゃ♡
これでは到底逆らえぬう♡

まあそれは、余が母でなかったらの話じゃがのうっ♡

ンモオ` ツヒィ` ～ツ♡

い、幾ら馬鹿乳握り潰してえ♡
ミルク搾っても無駄じゃぞお♡

余、これ以上はぶにあなほぢらぬもんっ♡

何故じゃと？そ、それはもちろんっ♡

この股の間から伸びてえ♡
余の馬鹿乳谷間を貫き、口元まで届いてしまうちんぽ♡

余のおっぱいおむつが不十分だったゆえ、いつもよりビッキビキじゃないかえ♡

情けない母を退治しようと、とんでもなく雄々しくなっておるっ♡

このようにつよつよ聖剣ッ♡
よわよわぶにあなに突っ込んでならぬのじゃっ♡

母を許して欲しいのじゃあ♡我が子よっ♡

次こそは、おっぱいおむつ頑張るゆえっ♡

もちろんチンキスも、ちゅっ♡ん～ちゅっ♡

舌での亀頭磨きもサボらぬ♡
れろっ♡べろべろべろお～んっ♡

ぶにあな以外ならなあんでも♡
使い放題してよいからあっ♡

ブモお`ッほお`～ッ♡もうっ♡もうもうっ♡

わかったと言いつつ、いつもの体勢取るでないっ♡

とぼけてはいかぬぞっ♡こ、このような♡

母の膝裏に腕を回し、幼児が如きおしっこポーズ取らせてえ♡

その上馬鹿乳握り締めて、どんなにジタバタ足掻いてもお♡

ぜ～ったい♡ちんぽから逃げられぬようにしておるのじゃっ♡

母のぶにあなを、オナホのようにコキ使うつもりしかなかりがっ♡

違うと言うのなら証明してみよ♡この反抗期真っ盛りめえっ♡

お`ッ！？しょ、しょこっ♡まさかあっ♡

違うのじゃ、我が子ッ♡そこはちんぽハメる穴じゃないのじゃあッ♡

ほお`ッ！？ヒョオ`～ッ♡

けちゅっ♡余のケツあにやあ`～ッ♡

我が子のちんぽで、ゴリゴリほぢられておりゅっ♡

抜けっ♡抜くのじゃあっ♡母のケツ穴いちめるでなひい`～ッ♡

にゅっほお`～ッ！？ムリヤリ抜こうとしてはいかぬっ♡

削れりゅっ♡余のケツ穴が、亀頭でめくれちゃうっ♡

のっほおゝ〜ッ♡おゝッおゝッ！？

おゝ〜ッ♡うゝッほおゝオゝッ♡

抜くのがダメならブチ込むなどっ♡
どんなアホに育てられたんじゃそなたっ♡

のオゝッ♡ほおゝ〜ッ♡

ンオゝオゝ〜ッ♡そ、そうじゃな♡
余であったあ♡

ションベン漏らしつつ思い出したのじゃ♡
そ、そしてえ♡

その切なそうな顔を見上げればわかるぞよ♡

本当は余のぷにあなをオナホにしたかったというのにい♡
ケツ穴だけで我慢してくれたんじゃの♡

ちゃんと母のワガママを聞いてくれるなど、なんて優しいのじゃあ♡

ちんぽはちょっとどころか、ンおゝオゝッ♡
大層暴れん坊じゃがっ♡

しっかり母として、ケツ穴オナホを勤めるゆえ。
存分に使うがよいぞっ♡

ンモオゝ〜ッ♡おゝッホッ♡

こ、これ♡ちょっと優しすぎるう♡

しっかり馬鹿乳握り潰しつつ、母のケツ穴ほぢり尽くしてえ♡

ここは俺のザーメン便器だぞ、とお♡
余に教え込まなきゃダメじゃろっ♡

甘々ズボズボするでないっ♡
もっと激しくのっほおゝッ！？

らめっ♡しょこっ♡
しつこくコネるのらめなのじゃあっ♡

裏から潰すでないっ♡しょんなことされたらあっ♡

あゝ〜ッ♡あゝ〜ッ♡勘違いしておるうっ♡

余の子宮が、我が子のお子種欲しがってえ♡

ぎゅうぎゅう締まるッ♡
ミルクをゴクゴクしようとしておるっ♡

んのほおゝッ♡ちんぽッ♡ビクビクう〜っ♡

今お射精するのダメじゃっ♡
ちょっ♡まつ♡

ほおッ！？ひょおゝッ ～ッ♡

アゝ ひっ♡ふへゝッ♡

おゝッおゝッ♡おゝ ～ッ♡

わ、我が子よ♡先ほどとは真逆にい♡

こうして、小さな身体を丸めつつ。
馬鹿乳を床で潰してのう♡

この余が。
母が、そなたの足元に這いつくばっておるのじゃ♡

賢い我が子なら、どうすれば良いか。
一目でわかると思うのじゃが♡

にゅおゝ ほおゝ ～ッ♡
足裏ナデナデ嬉しいのじゃあ♡

我が子に頭を踏んづけられて、魔王ミルクを馬鹿乳から♡

勇者ミルクをケツ穴から嘔くッ♡
嘔きまくっておりゅうゝ ～ッ♡

も、もっとお♡雄々しく踏み踏みしてくりゃれえ♡

あん、もう♡
なにゅえ踏んづけるのをやめるのじゃあ♡

余はもっと、もお～っと♡
我が子に反省させてもらいたいのに♡

何を悔いるのか、じゃと？
そのようなこと知れておる♡

先ほどケツ穴オナホにして頂いた時に、余は気づいたのじゃ♡

もう、母など名乗ることが出来ぬ♡
何故ならばあ♡

子宮が訴えておる♡
何故そなたに、ミルクをコキ捨ててもらわぬのかと♡

この世で一番強い雄様の、お子種を恵んで頂きたくてたまらぬのじゃ♡

孕ませてくりゃれ♡
この余を、マザーレ・マルグシオンを♡

そのためなら何でもするのじゃ♡
た、例えばあ♡

魔王の座を投げ捨て、そなたのちんぽのコキ捨て便所♡

そうしてもらっても構わぬ♡
いやむしろ、そうならねば我慢できぬッ♡

そなたに孕ませてもらうのじゃっ♡
そのぐらいせねば、平等とは言えぬじゃろうてっ♡

生涯尽くすゆえ、どうか余を。
そなたのお側に置いて欲しいのじゃあっ♡

た、立てとな？そして膝の上に乗れ、と？

うう、便所如きがそのような♡
じゃが、そなたに逆らう訳にもいかぬ♡

失礼するぞよ♡元魔王、現コキ捨て便器の持ち主様よ♡

ンモォッ♡そ、そうそう♡
ミルクも今まで以上に搾り放題なのじゃ♡

乳首を自ら咥え、ミルクで口をゆすげとな？

よく意図はわからぬが、わかったのじゃ♡

はあむっ♡んじゅっ♡んじゅじゅうっ♡

ごく、ごくっ♡ぶはっ♡
そ、それで次はあ♡

ン〜っ！？んちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

ぶはっ♡そ、そなたあ？
何ゆえに、便器なぞと接吻をお♡

パイ飲みキスダメなのじゃっ♡
余、幸せ過ぎて頭がおかしくっ♡

ンむうゝ〜ッ♡れ、レルチュッ♡
がぶがぶっ♡ぶっぴいゝ〜ッ♡

はひ♡わかったのじゃ♡
黙って余、そなたのお言葉聞くからあ♡

だからもっとキスッ♡きしゅうゝ〜ッ♡

モォゝ〜ッ♡今の言葉は、本気かやっ！？

あまりの悦びに、ミルクを嘔いてしもうたじゃろっ♡

余に母を続けさせつつ。
便所ではなく、嫁に♡

そして我が子の我が子を産ませ続けてえ♡
もっと母にしてくれるとな♡

余なんかに、そのような厚遇を与えるなどと。
気が狂っておるぞよ、そなた♡

でも、我が子がそう望んだのであらば♡
パパになりたいのであればのう♡

その親孝行を母として、大喜びで受け取らねばならぬなっ♡

うむ、うむうむ♡もちろんなのじゃっ♡

もちろん子宮でも、ちんぽに誓いのキスを捧げさせて頂くからのっ♡

いつもよりも、凶悪になってしまっておるけども。

もう母にして嫁たる、余にためらいはないのじゃっ♡

一気に行くぞよ♡せ～っ♡のっ♡

ほお`～ッ♡あ`ッひい`～ッ♡

い、勢い良く♡腰を降ろし過ぎてえ♡

接吻どころか思いっきり、亀頭で子宮をブン殴ってしもうた♡

少々腰が抜けたゆえ、ちょっと待って欲しいのじゃあ♡

あ`ッでもっ♡我が子の亀頭っ♡びくびくう～ッ♡

一刻も早く、余のぶにあなでちんぽいっぱいシゴかせてえ♡

ミルクを子宮にブチ撒けたいと、おっしやっておるのじゃあっ♡

もお`～ッ♡ンモオ`～ッ♡
ち、乳首で教えてくれておるっ♡

このようにシゴいて、ちんぽを搾れと♡
我が子が母に見本をおっ♡

甘いミルクを嘔きつつ、甘えてばかりではいられぬっ♡

喰らうがよい、我が子よっ♡これが余のッ♡

マ魔王改め、嫁マ魔王の、全力全開チンコキご奉仕なのじゃッ♡

お`ッお`ッ♡ふにゅお`～ッ♡

あ`～ッ♡あ`～ッ♡

余、全然ッ♡ぶにあなでちんぽシゴけておらぬのにっ♡

気持ちいいとか、最高だとかッ♡

お世辞を言いつつ、乳首をシゴくの酷すぎるのじゃっ♡

みりゅくもやる気も出っぱなしになっちゃうのにっ♡

肝心の、我が子のちんぽ搾れぬのじゃっ♡
のっじゃあ`～ッ♡

た、たしゅけて我が子ッ♡お慈悲ッ♡

お慈悲をっ♡おゝッ！？おゝ～ッ♡

余ばかりじゃなくて、親子仲良くミルクをどっぴゅんしたいっ♡

ほれ、大好物のパイ飲みキスもするゆえっ♡

お射精どうぞっ♡

余の子宮に、お子種いっぱいブチ撒けて欲しいのじゃあ～っ♡

ちゅっちゅっ♡ん～ちゅっ♡

にゅおゝオゝ～ッ♡

そ、そのままミルク♡たっぷり飲んでえ♡

ンモオゝ～ッ♡ほゝゝ♡ホゝゝ♡アゝ～ッ♡

余の子宮も、たっぷりミルクを恵んでもらっておるっ♡

これこそが、余とそなたの正しい親子の関係っ♡

我が子の我が子、絶対孕むっ♡お射精感謝♡

嫁マ魔王を、見事ちんぽで退治できたのう♡

偉い偉い、流石自慢の我が子よのお～♡

もおゝッ！？ひ、ひいいん♡

我が子のお口が言っておるっ♡

まだまだ余のミルクを飲みつつ、余にミルクをご馳走したいとっ♡

ならば母にして嫁たる余に、異存など有るはずないのじゃっ♡

そなたのちんぽ、何回でも何万回でもッ♡満足するまでっ♡

い～っぱい♡ぷにあな搾りして差上げるのじゃっ♡

ほれ、ミルクを飲みつつ命令するがよいっ♡

ンもおゝッヒゝゝ～ッ♡

幸せッ♡幸せなのじゃあっ♡

我が子ちゅきっ♡ちゅきちゅきピストンとまらにゅによおゝ～ッ♡

そなた♡我が子よ♡

また新しい、我が子の我が子を産んできたぞよ～♡

今回も大層難儀したのじゃ♡

何せ、余は小さくともそなたがデカイからのう♡

産むのに苦労しすぎて、ぷにあなも子宮もクタクタじゃあ♡

じゃが安心するがよい♡
いくら産もうと、母の愛は無限じゃて♡

今回の我が子もしっかり、そなたに。
まあ勝てぬけどのう？

少々見劣りする程度には、立派に育ててみせるのじゃあ♡

モォッ！？ンモォッ～♡

こ、これそなたっ♡ブモォッ♡

ねぎらいパイ揉み、ダメなのじゃっ♡

もぉッひいッ～♡い、いかぬうっ♡

余、さらに母になったと言うのにっ♡

そなたに馬鹿乳から、本音をミルクごと搾られておるっ♡

もっと♡もぉ～っ♡母になれるという証拠でりゅッ♡

みりゅくっ♡やる気を噴かされまくっちゃうのじゃあッ～♡

ひゃいっ♡余、素直になるから許してえっ♡

え、えへへ♡まんこ暖簾をめくってえ♡

ほれそなたっ♡どうぞなのじゃあ♡

ご覧になってくりゃれ♡我が子のちんぽで舐けて頂き♡

我が子の我が子を、鬼のように産まされながらもぉ♡

まだまだちっちゃい♡
舐け甲斐のある、余のぷにあなじゃぞぉ～♡

じゃが勘違いするでないぞ♡
このように、そなたにお見せしただけでえ♡

ンッヒッ♡モォ～♡

さ、先ほどは泣き言を言って申し訳ありませぬと♡

馬鹿乳からミルク♡ぷにあなからションベン♡
謝罪の証を同時に噴きつつ、大層へこへこ♡

反省のため、ちんぽブチ込んでくりゃれ♡

いつでも孕ませ放題じゃぞぉ～♡とお♡
いっぱいおねだりしておろうが♡

我が子にして夫の、返答はいかにっ♡

ンモオ`ッ♡にゆお`ッほお`～ッ♡

必殺技、炸裂しちゃったのじゃっ♡

余の馬鹿乳引っ掴み、ちっちゃな身体を釣り上げてえ♡
そのままどっちゅんっ♡

嫁マ魔王たる余にい♡
また孕ませちんぼケースの刑を執行してくれるのじゃのっ♡

我が子優しい♡じゃが、いつも通り甘える訳にもいかぬっ♡

余もしっかり、馬鹿乳押し付けだいちゅきホールドするゆえ♡

どうか気兼ねなく子宮をブン殴り。
おいに我が子ミルクをコキ捨ててくりゃれえっ♡

えいっ♡ぎゅ～なのじゃっ♡

あ`ヒッ♡ブモッ！？お`ッお`ッ♡

ほお`ッ♡へえ`エ`～ッ♡

いつも通り激しッ♡い`ッヒイ`～ッ♡

また我が子がムカついちゃっておりゅっ♡

そなた以外の我が子にい♡
母の子宮を浮気させたことにキレ尽くしておりゅっ♡

しょ、しょうがないじゃろお～っ♡のっほお`ッ♡

孕んでる間も、ちゃあんと玉座の上でえ♡

我が子のケツ穴オナホも、頑張っておったじゃろお～っ♡

しかもずっと、そなたに仰け反りパイ飲みキスされつつだったのじゃっ♡

他の我が子に、余のミルクを分け与える気はないのかのっ♡

このド鬼畜我が子めっ♡独占欲がヤバ過ぎるのじゃあっ♡

あ`ッあ`ッ♡お`ッお`ッ♡ンお`ほお`～ッ♡

しゅまぬっ♡許してえッ♡
我が子にして、最愛の夫なのはそなただけなのじゃっ♡

じゃからがっちり胸板搾乳しつつ。
子宮ブツ叩き過ぎてはいかぬっ♡

詫びミルクも反省タマゴも止まらぬうっ♡でりゅっ♡

もお`～ッ♡お`ッお`ッ♡お`～ッ♡

へ、へひい～っ♡へっひい～っ♡

もう♡そなたと来たら、余ばっかり搾っちゃいかぬぞお♡

余のぷにあなで、しっかりちんぽを搾らせてえ♡

お子種どっぴゅんっ♡
今日も嫁マ魔王を、いっぱい♡

孕ませてくりやれえッ♡
ほれ、びゅ〜ッ♡びゅ〜っ♡

にゅおほお`〜ッ♡
我が子のミルクしゅごいのじゃあ〜ッ♡

余、また孕むッ♡
我が子の我が子をぶっちゅんすりゅうっ♡

にゅお`オ`〜♡え、えへへえ♡

今日もお疲れ様なのじゃ、そなた♡

この後は、嫁の膝枕でミルク飲み放題かの♡

それとも、母の愛情とミルクたっぷり♡

パイズリそおぷで、ちんぽ磨かせるのもよいぞよ〜♡

んお`ッ♡またちんぽっ♡びくびくう〜ッ♡

ひゃいそなたっ♡余、もっと嫁マ魔王としてえ♡

孕ませ放題ちんぽケースするのじゃっ♡

余の子宮に、我が子を孕むのサボらせるでないぞ♡

愛しておるぞ、最愛の我が子でえ♡

最強勇者な旦那様よ♡ん〜ちゅっ♡

にゅお`お`〜ッ♡余、嫁マ魔王としてえ♡

我が子な勇者に、永遠にい♡
家庭内ちんぽ退治、大満喫されっぱなしなのじゃあ`〜ッ♡